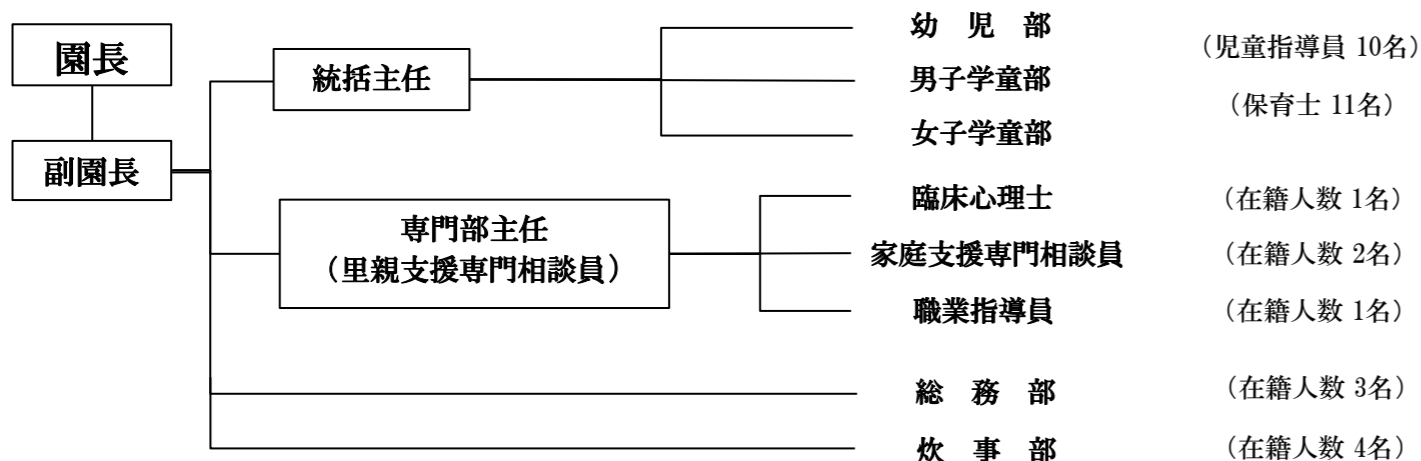


## 恩籠園の職員と組織

園の職員は、園長以下副園長・児童指導員・保育士・臨床心理士・家庭支援専門相談員・里親支援専門相談員・職業指導員・事務員・栄養士・調理師（員）の36名で、次のような組織と職員配置で子どもたちの成長を援けています。



## 恩籠園案内図

「京成津田沼駅」か  
JR「津田沼駅」、または  
東葉高速鉄道「北習志野駅」  
から新京成線へ乗り換え  
「習志野駅」にて下車  
徒歩8分

または「JR津田沼駅北口」  
で路線バスに乗り換え  
「薬園台2丁目」にて下車  
徒歩5分



# おんちょう園のしおり

～一人ひとりの自立をめざして～



社会福祉法人  
理事長 恩籠園 飯島 和男

児童養護施設  
園長 恩籠園 本間 敏子  
副園長 上林 大輔  
統括主任 岸田 麻子

児童養護施設 恩籠園  
〒274-0077  
千葉県船橋市薬園台4丁目6-2  
TEL 047-466-4020  
FAX 047-466-4047

HP : <http://www.onchoen.or.jp>  
E-mail : [info@onchoen.or.jp](mailto:info@onchoen.or.jp)

## 恩寵園の歴史

昭和21年（1946）9月14日、大浜魁・守見子夫妻は、戦爆死した次男を追悼する事業として、戦災孤児6名を引き取り恩寵園を開設しました。

開設当初の所在地は、JR津田沼駅近くの守見子の実家（田中長蔵宅）でしたが、児童数も増え移転の必要に迫られ、元軍用地施設の払下げを受け現在地に移転しました。

昭和27年（1952）5月30日、社会福祉法人として認可され、児童定員70名の施設となりました。

それから60年以上の時が流れ、700人を超える子どもたちを育て世に送り出しましたが、一時は園内で虐待事件が起こった哀しい時期もありました。

現在では、事件を受けて職員は一新され、平成15年（2003）11月には新園舎が竣工し、恩寵園は名実ともに新しい歴史を刻み始めています。



大浜 魁



大浜 守見子

## 園児たちの生活日課

6：30	各自起床及び朝食	14：15	幼稚園お迎え
7：00	高校生など順次登校	15：30	小学生など順次下校
7：45	中学生登校	17：30	各自入浴開始
8：00	小学生登校	18：00	夕食
9：00	幼稚園登園	21：00	各自就寝開始
12：00	昼食	22：00	消灯

〔注〕 土日祝日などは起床・朝食が1時間遅くなります。

## 恩寵園施設案内

恩寵園には、これらの特色があります。

- 1) 恩寵園は4つの学童（小学生以上）のグループと、1つの幼児のグループの集合体になっています。
- 2) 学童のグループは最大で15人が生活を共にし、小学校高学年から高校生は個室または二人部屋で、低学年は四人部屋で生活をします。
- 3) 幼児は学童とは別にスペースを設けていて、最大で10人が一緒に生活をします。
- 4) 子どもたちが気軽に悩みごとなどを相談できるように相談室を、また心のケアが必要な子どもたちのために心理士が常駐し心理療法室を設置しています。
- 5) 親子の絆を繋げ深めるために、親子だけで寝食を共にできる部屋（ファミリールーム）を設置しています。
- 6) 児童の自立に備えて、ひとり暮らしの体験ができるように自立訓練棟を設置しています。
- 7) 大食堂には映写機材が備えられ、いつでも大型画面と優れた音響でDVDなどを鑑賞することができます。

## 恩寵園の子どもたち

いま、園には2歳から18歳までの子どもたち最大70人が、5つのグループに別れ家族的な生活をしています。その多くは親の離婚、死別、そして虐待等により傷ついた子どもたちです。

こうした難しい状況に対応するため、平成12年春「自由で愛に充ちた家」を目指して再出発し成果を挙げてきました。

しかしながら、子どもたちの年齢が上がり、また卒園する子どもたちが年を追うごとに増えていくことから、平成18年3月に新たな養育基本理念「子どもたち一人ひとりの自立をめざして」を策定し、園生活が子どもたちにとって明るい未来につながるよう大いなる努力が傾けられています。

## 恩寵園の養育基本理念

1. 恩寵園は創立の精神である基督教的博愛主義を尊重する。

1. 恩寵園は、子どもたち一人ひとりの権利を擁護し、だれもが自立できるよう支援する。

1. 恩寵園は、子どもたちが安心感を持ち、心身ともに健康で、さまざまな不安や危険から保護されるよう支援する。

1. 恩寵園は、子どもたちが本来持っている成長力を阻害することなく、一人ひとりが成長への意欲を湧かせ、個性的で豊かな人間形成が育まれるよう援助し、社会的自立のために必要となる生活の知識や技術を習得し、総合的な生活力を養うことができるように支援する。

1. 恩寵園は、子どもたちや子どもたちに関わる人々を大切にし、子どもたちにとって心の安らぐ人間関係を築くことができるよう支援する。

1. 恩寵園は、全ての職員が常に明るく、意欲的に子どもたちと関わるができるように、民主的な園の運営と養育援助技術の向上に努める。

